

【初试】2026年 山东师范大学 713 基础日语考研精品资料**说明：本套资料由高分研究生潜心整理编写，高清电子版支持打印，考研推荐资料。****一、山东师范大学 713 基础日语考研真题汇编****1. 山东师范大学 713 基础日语 2007-2018 年考研真题，暂无答案。****说明：**分析历年考研真题可以把握出题脉络，了解考题难度、风格，侧重点等，为考研复习指明方向。**二、2026年山东师范大学 713 基础日语考研资料****2. 基础日语考研复习相关资料****基础日语考研[模拟题+答案详解]****2-1、2026年基础日语两套模拟试题及详细答案解析****说明：**精心整理编写，共两套模拟试题，均有详细答案解析，检验复习效果，冲刺首选。**基础日语考研[考研核心题库+答案解析]****3-1、2026年基础日语[词汇]考研题库****3-2、2026年基础日语[语法]考研题库****3-3、2026年基础日语[阅读理解]考研题库****3-4、2026年基础日语[翻译]考研题库****3-5、2026年基础日语[写作]考研题库****说明：**专业课强化辅导班使用。最新最全考研复习题库，均含有详细答案解析，考研首选。**三、资料全国统一零售价****本套考研资料包含以上部分(不含教材)，全国统一零售价：[¥]****四、2026年研究生入学考试指定/推荐参考书目(资料不包括教材)****山东师范大学 713 基础日语考研初试参考书****未指定参考书****五、本套考研资料适用学院****外国语学院****六、本专业一对一辅导(资料不包含，需另付费)****提供本专业高分学长一对一辅导及答疑服务，需另付费，具体辅导内容计划、课时、辅导方式、收费标准等详情请咨询机构或商家。****七、本专业报录数据分析报告(资料不包含，需另付费)****提供本专业近年报考录取数据及调剂分析报告，需另付费，报录数据包括：****①报录数据-本专业招生计划、院校分数线、录取情况分析及详细录取名单；****②调剂去向-报考本专业未被录取的考生调剂去向院校及详细名单。****版权声明**

编写组依法对本书享有专有著作权，同时我们尊重知识产权，对本电子书部分内容参考和引用的市面上已出版或发行图书及来自互联网等资料的文字、图片、表格数据等资料，均要求注明作者和来源。但由于各种原因，如资料引用时未能联系上作者或者无法确认内容来源等，因而有部分未注明作者或来源，在此对原作者或权利人表示感谢。若使用过程中对本书有任何异议请直接联系我们，我们会在第一时间与您沟通处理。

因编撰此电子书属于首次，加之作者水平和时间所限，书中错漏之处在所难免，恳切希望广大考生读者批评指正。

目录

封面.....	1
目录.....	4
山东师范大学 713 基础日语历年真题汇编.....	5
山东师范大学 713 基础日语 2018 年考研真题（暂无答案）	5
山东师范大学 713 基础日语 2017 年考研真题（暂无答案）	11
山东师范大学 713 基础日语 2016 年考研真题（暂无答案）	17
山东师范大学 713 基础日语 2015 年考研真题（暂无答案）	21
山东师范大学 713 基础日语 2014 年考研真题（暂无答案）	25
山东师范大学 713 基础日语 2013 年考研真题（暂无答案）	29
山东师范大学 713 基础日语 2012 年考研真题（暂无答案）	33
山东师范大学 713 基础日语 2011 年考研真题（暂无答案）	38
山东师范大学 713 基础日语 2010 年考研真题（暂无答案）	42
山东师范大学 713 基础日语 2009 年考研真题（暂无答案）	49
山东师范大学 713 基础日语 2008 年考研真题（暂无答案）	55
山东师范大学 713 基础日语 2007 年考研真题（暂无答案）	61
2026 年山东师范大学 713 基础日语考研核心题库.....	68
基础日语考研核心题库之[词汇]精编	68
基础日语考研核心题库之[语法]精编	81
基础日语考研核心题库之[阅读理解]精编	98
基础日语考研核心题库之[翻译]精编	136
基础日语考研核心题库之[写作]精编	144
2026 年统考基础日语二套考研模拟试题.....	160
2026 年统考基础日语考研模拟试题及详细答案解析（一）	160
2026 年统考基础日语考研模拟试题及详细答案解析（二）	178

山东师范大学 713 基础日语历年真题汇编

山东师范大学 713 基础日语 2018 年考研真题（暂无答案）

山东师范大学
硕士研究生入学考试试题

日语语言文学

考试科目：

基础日语 713

- 注意事项：1. 本试卷共 四 道大题（共计 个小题），满分 150 分；
2. 本卷属试题卷，答题另有答题卷，答案一律写在答题卷上，写在该试题卷上或草纸上均无效。要注意试卷清洁，不要在试卷上涂划；
3. 必须用蓝、黑钢笔或圆珠笔答题，其它均无效。

問題一、次の I と II の文章を読んで、後の間に答えなさい。答えは、1、2、3、4 から最も適当なものを一つ選びなさい。（62 点）

(I)

元来親族用語は、ある特定の話者を定めた時、初めてその内容が決定されるような自己中心語に属する。ある話者が「父」と言い「母」と称する人は、その人にとってのみ父であり、その人から見てのみ母と呼ぶことができる対象であって、自分以外の父や母を言うときは、「誰々の父」のように修飾する必要がある。本来の親族用語は、相対的なものなのである。

(①) 日本語では、父や母のような親族語はその（ア）性を失って、（イ）的な語として機能していると考えることができる。例えば、②家の中で母親が子どもに向かって、「あなたのパパはどこ？」とか「お前のおとうちゃん、遅いわね」などとは決して言わないし、言うことはできないのである。一軒の家には、父、母、祖父、祖母などと呼ばれる地位があるが、その地位を占める者の名が「おかあさん」であり「おとうさん」なのだと日本人は受け取っているのである。だから夫が妻を「おかあさん」と呼んでも不思議ではないし、一家の祖母に当たる人が、自分の息子を「おとうさん」「パパ」と呼ぶこともあり得る。このような場合の親族語は、もはや「私の」とか「子供の」という原点を失った、「うちのおとうさん」「うちのかあさん」という意味なのである。

家庭外で、相手を先生とか、課長と呼び、名前や人称代名詞をなるべく使わないのも、その場に応じたヒエラルヒーを設定し、その中の位置付けをすることで相手を把握するものと言えよう。つまり、相手を一個の個人とは見ないで、相手を家庭をはじめ、職場、社交、その他いくつかヒエラルヒーを背負った存在と考え、ヒエラルヒーの中の相手と自分の上下関係や相関関係から、言語的に、どのように自己を把握するかが

決定されるのだ。そしてこの決定は、一般的な言葉遣い、適当な敬語の選択、そして全身的な態度にまで影響を及ぼして行くのである。

日本人の言語によるこのような自己定位は、いま述べたような相手を規定し終えた後ではじめて可能になる。だから、相手の素性が知れていれば楽なものである。

例えば小学校の先生をしている一人の男を考えてみよう。彼は自分の子供に向かうときは、自分のことを「(a)」と呼ぶが、誰か子供の友だちが遊びに来れば、「(b)」である。妻に対しては自分のことを「(c)」と言うかも知れないし、学校で校長と話すときは「(d)」とかしこまる。

これに反し、相手の素性が知らない時には非常に困ってしまう。見知らぬ他人、社会的に位置付ける手がかりのつかめぬ相手に対し、我々日本人が気安く言葉を交わせない原因の一つは、ここにあると考えられる。しかも現代では、そのような相手と、否応なしに、何らかの人間関係を結ばなければ、生活していくいよいよ状況が目増しに多くなる一方である。一部のサラリーマン階級から始まったと言われる「おたく」を、「あなた」でも「おまえ」「きみ」でもない、(③)に対する呼び掛け語として使う習慣なども、ヒエラルキーに無関係な対称語を求める無意識の努力の現れではないかと思われる。よく日本人には真の意味の対話がないと言われるが、「話し手」と「聞き手」という抽象的な機能のみを表示する適切な用語を積極的に求める努力が、今ほど必要なときはないと思うのである。

(鈴木孝夫『ことばと社会』による)

問1 (①)に入る適當な語はどれか。

- | | |
|--------|---------|
| 1 ただし | 2 そこで |
| 3 ところが | 4 かといって |

問2 ア、イに入る適當な語はどれか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 ア：絶対 イ：相対 | 2 ア：相対 イ：絶対 |
| 3 ア：一般 イ：相対 | 4 ア：相対 イ：一般 |

問3 ②「家の中で母親が子どもに向かって、……言うことはできないのである。」とあるが、それはなぜか。

- 1 日本語の親族語は子どもの立場から相手をとらえた言い方はしないから。
- 2 「あなたのパパ」といった方は煩雑であり、「誰の」は言わなくてもわかるから。
- 3 日本語の親族語は自分の立場から相手をとらえた自己中心語だから。
- 4 日本語の親族語は家庭内の地位を表す語で、「誰の」は言う必要はないから。

問4 a～cに入る適當な語の組み合わせはどれか。

- | | | | |
|----------|----------|--------|-------|
| 1 a : パパ | b : おじさん | c : おれ | d : 私 |
|----------|----------|--------|-------|